

インドネシアでアンモニア・プロジェクトを受注

平成 25 年 2 月 28 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社 (TOYO、取締役社長 石橋 克基) は、このたびインドネシアの大手ガス製造会社、スルヤ・エスカ・ペルカサ (SEP) 傘下のパンカ・アマラ・ウタマ (PAU) が、スラベシ島中部スラベシ州ルウク地区に建設するアンモニア・プロジェクトを受注しました。本プロジェクトは、日産 2,000 トンのアンモニア製造設備とユーティリティ設備を新設するもので、契約形態は設計・調達・工事、試運転の一括請負です。米国 KBR 社のアンモニア技術を起用し、プロジェクトの実行は、TOYO が出資する現地エンジニアリング会社イーカーペーター (IKPT) と共同で行います。プラントの完成は 2015 年度第 2 四半期を予定しています。

本プロジェクトは、スラベシ島にあるセノロ・ガス田とトイリ・ガス田で生産される天然ガスをベースに、尿素肥料やアクリル系繊維などの化学品原料となるアンモニアを生産するもので、国産ガスの有効利用と高付加価値化を実現するプロジェクトです。

今回の受注は、当社が 1970 年代からインドネシアにて数多くのプラントの建設・改造プロジェクトを遂行した実績と、初期段階からプロジェクトの早期実現に向けて各種提案及び検討を重ねた結果、随意契約での受注に至りました。

TOYO は現在、インドネシアのカリマンタン島ボンタン地区に大型肥料プロジェクトを建設中であり、また 2012 年 12 月には、スマトラ島パレンバン地区に建設予定の肥料プロジェクトも受注しています。

新興国を中心とした人口増加に伴う食糧増産に向けて、肥料の需要は今後も伸びることが予想されております。インドネシアを含め現在世界で多くの肥料プラントが計画されており、TOYO は尿素プロセスのライセンスーとして、また肥料プラントの EPC コントラクターとして、今後もビジネスの拡大を図ります。

受注概要

- 客 先: パンカ・アマラ・ウタマ (PAU、PT Panca Amara Utama)
- 受注者: 東洋エンジニアリングと IKPT の共同受注
- 建設地: インドネシア、スラベシ島中央スラベシ州ルウク地区
- 対象設備: アンモニアプラント (日産 2,000 トン、米国 KBR 技術) およびユーティリティ付帯設備
- 役務内容: 設計、機器資材の調達、工事、試運転までの一括請負
- 完成予定: 2015 年度第 2 四半期

(備考) パンカ・アマラ・ウタマ (PAU、PT Panca Amara Utama) は、天然ガスから LPG とコンデンセートを生産するインドネシア大手のガス製造会社スルヤ・エスカ・ペルカサ (SEP、PT Surya Esa Perkasa Tbk) が 59.98% を出資するアンモニア製造会社です。

<お問い合わせ先> 広報・IR 室 [担当: 佐藤、深沢] TEL: 047-454-1113